

試験研究(中間)評価整理表

試験研究機関名 環境センター

所管課 水・大気環境課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	猪苗代湖を始めとする豊かな水環境などの保全	猪苗代湖水環境保全対策事業	猪苗代湖水環境保全対策調査事業	猪苗代湖における大腸菌群数増加の原因解明とその対策を講じるため、猪苗代湖の大腸菌群細菌の出現傾向を明らかにし、猪苗代湖流域の水環境保全対策に資することを目的とする。	「猪苗代湖大腸菌群超過対策調査」、「猪苗代湖全湖水面調査」、「湖沼における難分解性有機物調査」及び「裏磐梯五色沼湖沼群の環境調査」を実施した。	26	27	B	猪苗代湖水質改善のため大腸菌群超過原因を明らかにすることは重要である。大腸菌群超過対策の効果的な施策展開をするため、その原因の特定に必要な調査を効果的に実施していくことが必要である。	大腸菌群の超過の原因究明については、糞便由来でないなどいくつかの興味深い成果が得られている。最近大腸菌群の糞便性汚染指標としての妥当性が討議されていることから、本研究においてもそのことについて言及すべきである。この四半世紀でpHが大きく変化していることから、細菌を捕食する生物相も変化していると考えられ、湖沼生態系変遷の解明も必要である。難分解性有機物調査の位置づけとして、水質環境基準の達成率の向上とともに水道水源としての質的確保の重要性も加え、またその観点からの考察も必要である。(秋葉)

試験研究機関名 衛生研究所

所管課 薬務課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
2	Ⅱ-3-② ライフステージや疾病に応じた保健予防対策の充実	結核・感染症対策	結核疫学調査における解析能力の高いデータベースの構築	平成23年度から25年度まで実施したVNTR分析でJATA15ローカスによる解析結果でデータベースを構築してきた。今回は、追加分析と新手法を取り入れることで更に解析能力の高いデータベースの構築を図ることで、全国規模での比較解析を可能とする。	結核菌の分子疫学解析で過去3年間に構築してきたデータベースを追加分析・新手法により、更に充実させる。	26	28	A	解析能力の高いデータベース構築のため、引き続き解析結果のデータベース化及び検査方法の追加手法を検討することで、広域的結核対策に貢献できる。	結核対策は県民の健康を守る上で、極めて優先順位が高い施策と考えられる。評価時までの進捗状況は、保有の結核菌全株について解析データの構築、H26年度搬入の菌株について追加9領域の分析の検討が行われており、順調である。VNTR法の結果から菌株情報のデータベースの構築を進め、同時に、より解像度の高い手法を取り入れており、病原体サーベイランスの重要性や既存の結核菌の検査手法等を踏まえて、分子疫学研究が展開されている。研究成果は、患者の治療、感染経路の同定、広域での感染拡大防止対策に有用な情報をもたらすことが期待される。本研究で行う結核菌の分子疫学調査は結核対策の要の1つであり、着実にデータを蓄積し、広域を含む感染経路解明に資すること、より解像度の高い検査手法も推進することを期待する。(江藤)

試験研究(中間)評価整理表

試験研究機関名 ハイテクプラザ
所管課 産業創出課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
3	再生可能エネルギーの研究拠点・関連産業の集積・育成	ふくしまからはじめよう。産総研福島拠点連携技術開発推進事業	太陽光発電用シリコンウェハの加工技術に関する研究	軽量で廉価な高い発電効率の太陽電池を開発するため、シリコンの加工技術を開発する。「高能率の薄切り技術」と「微細貫通電極技術」の開発を行う。	産総研福島再エネ研とハイテクプラザ、日大工学部、県内企業3社が、表面の電極を貫通穴で裏面に配置することで受光面積拡大し生産性も向上させた新型の太陽電池の研究開発を行う。	26	28	B	課題の目標点が高く、技術的に難しいテーマではあるが、県内企業・大学の得意な技術を集結させて、順調に結果が出ている。また、高効率セルの開発は、今後の重要課題であり、開発競争は激化すると考えられるが、県内再生可能エネルギー関連産業育成のため、継続する必要がある。	県内企業の有する加工技術を活かすことができ、将来性もある課題である。得られた成果もレベルが高い。FREAAとの連携・分担をしっかりと行い、着実に前進してほしい。成果は全国にアピールできるレベルにある。ハイテクプラザの名前が再エネの研究者に知れ渡るように、積極的に発表してほしい。太陽光発電用シリコンに限定されない高度な加工技術が育つであろうと推測する。数年先の研究計画策定のためにも、他の分野への展開についてを意識し議論する機会を設けてほしい。(佐藤)
3	県内企業の経営基盤、競争力・収益力の強化	ハイテクプラザ研究開発事業	CAEによる電子デバイスの信頼性評価手法の確立	CAE解析を利用した、信頼性評価手法を確立することにより時間短縮、コスト削減を達成する。	CAE解析に必要な情報(製品形状、周囲温度など)を製品から直接取得することにより、CAE解析の精度向上を図る。	26	28	B	ハイテクプラザにとって強みある分野であり、研究は順調に進捗している。実際に役立つシミュレーションが困難な中、実用の点から優れた成果が出ている。次年度の飛躍も期待されるため、研究継続の必要がある。	実用性に優れた成果が得られていると高く評価する。県内企業で活用され、技術的な競争力が増すよう、普及活動にも更なる力を入れてほしい。本研究課題終了後、本技術を活用する企業をどのようにして支援していくのか、体制の検討も必要と考える。(佐藤)
3	廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用	産業廃棄物減量化・再資源化技術支援事業	未利用農産物等の機能性成分を活かした加工技術の開発	未利用農産物等(そば末粉、アスパラガス切下、製あん粕、トマト摘果果実、製あん時廃糖蜜)の機能性成分を解明、機能性成分を保持した加工食品を開発し、県内食品企業への技術移転により、3年後の廃棄量8割低減を目指す。	普段廃棄される未利用農産物における機能性成分を把握し、機能性成分を維持した発酵調味料等を開発することで、県内食品加工業者に提案すると共に、健康関連産業への展開を目指す。	25	27	B	満足のいく官能試験の結果も出ており、商品化も間近となっている。成果の見通しが立っていることで、企業への普及に向けて継続した研究開発が重要である。	詳しい報告書を作成頂き、ありがとうございます。実験内容を良く理解できました。緒言に研究の背景をもう少し加えて頂きますと、よりわかりやすくなるかと存じます。本結果から、当初想定されていた「未利用農産物等の機能性成分のデータを把握することで、新たな食材としての利用価値が生まれる」については、「あん粕」の加工品が開発されており、更なる開発を期待します。(仲川)

試験研究機関名 農業総合センター(本部)
所管課 農業振興課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
4	魅力ある農山漁村の形成	自然・環境と共生する農林水産業の推進	「イノシシ被害に負けない農村づくり」技術確立実証事業	イノシシの行動データに基づいた営農管理や農地利用方法改善を行い、効率的に被害を防除する方法を確立する。また、先進集落と後進集落での対策についての意識差を明らかにし、今後の普及指導活動、各市町村での対策推進活動等への一助とする。	イノシシの行動範囲、行動パターンについて調査を行い、農地利用状況などの情報と合わせてGIS解析する。また、被害対策意識調査を行い、一度結果をフィードバックした後、意識や対策状況の変化について再度調査を行い、対策に対する意識変化などを確認する。	25	29	A	県内全域で鳥獣による農作物被害が増加しており、避難地域とその周辺地域におけるイノシシ対策の他、複数の獣種により被害が発生しているエリアが年々拡大していることから、優先度は高く、研究成果の早期輩出が望まれる。	鳥獣害対策の中でもイノシシ被害は深刻であり、有効な対策を早急に確立・普及する必要がある。福島特有の問題と捉えずに西日本等で培われた知見を有効に活用することで研究の進展が促進されると期待される。(信濃)